



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和6年6月14日発行 第3号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

最高の思い出がひとつ増えた。

～ 3年生が修学旅行で群馬・栃木に行ってきました ～

3年生が修学旅行で北関東方面に行ってきました。小規模校の特性を生かして小回りがきき、乗り換え不要のバスを利用して移動しました。日程は以下の通りでした。

- 1日目 川東中学校>>>川場田園プラザ>>>足利学校・あしかがフラワーパーク>>>ホテル
- 2日目 ホテル>>>華厳の滝>>>日光東照宮>>>おさるランド>>>日光江戸村>>>ホテル
- 3日目 ホテル>>>那須ハイランドパーク>>>川東中学校

>>>：バス



学校を離れたことで、普段学ぶことができないたくさんのことを学ぶことができたようです。修学旅行の3日間を通して、旅行のよさ、旅先のよさ、仲間のよさを実感すると同時に、自宅のよさ、家族のよさを再認識することができたのではないのでしょうか。

「川場田園プラザではみんなで遊んだ。小学生に戻った気分になった。」

「ガイドさんから足利学校のことを教えてもらってもっと知りたいと思った。」

「フラワーパークに行く前は、え？って思ってたけど花は綺麗でで最高スポットだった。」

「華厳の滝は想像の遙か上を行った。綺麗で、音がでかくて迫力満点で最高だった。」

「日光江戸村は昔の町並みが忠実に再現されていてすごかった。」

「新潟では感じる事ができない者をたくさん感じる事ができて、すごく良かった。」

「このメンバーで行く最後の旅行かと思うと悲しいけど、たくさん思い出が作れた。」

部活動で、何を学んだか。

下越地区総合体育大会を間近に控え、激励会を開催しました。今回は、バスケ部、バレー部、卓球部に加え、個人戦で参加するバドミントンが加わりました。激励会での講話を紹介します。

大会当日力を出し切ることは大切だし、結果を残すことも大切だ。でも、一番大切なのは当日その場において、試合をすることである。体調を崩すことなく、事故に遭うことなく、細心の注意を払って当日を迎えることである。是非ともこれからの生活に気を配って欲しい。



私も25年間部活動の顧問をしてきた。その結果、あることに気づいた。それは気の持ち方次第で人は持てる力の120%を出せると言うことである。120%の力を出して倒せない相手が、どれほどいるだろうか。さらに、相手は油断しているかも知れない。体調が完璧で無いかも知れない。そう考えると、「もしかすると」という期待はさらに膨らむ。「自分を信じ」「仲間を信じ」「可能性を信じ」「奇跡を信じて」頑張っ

「あなたは大会までの数日間、何を信じて練習に取り組めますか。」

「あなたは大会当日、何を信じて闘ってきますか。」

教育実習生がやってきた。



卒業生2名が当校において3週間に渡る教育実習を終え、大学に戻りました。コメントからその充実ぶりが覗えます。いつか、同じ学校で勤める日が来ることを楽しみにしています。感想を紹介します。

もしかすると、在校生の中にも、将来実習に来る人がいるかもしれません。

「3週間、本当に多くのことを経験し多くのことを学ぶことができました。生徒の成長やよさを見つけることができる日々は、とても楽しい時間でした。大きく成長することができたと思います。」(理科担当)

「本当にあっという間の3週間でした。私の人生においてこんなに濃く、早く過ぎた3週間は初めてでした。生徒や先生方が一人一人とても優しく改めて川東中学校は自慢できる母校だと思いました。」(保体担当)



規模を縮小して恵愛祭、復活へ。

「地域の方を招いて料理を振る舞う恵愛祭を復活させたい」

とある生徒のつぶやきです。同様の声を保護者や地域の方からもいただいていた。昨年度、文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受け、様々な活動を通して、地域の皆様と交流する意義を再認識しました。

生徒数や職員数の減少を踏まえ、規模を縮小しての復活に踏み切りたいと考えています。11.15川東恵愛祭では、地域の皆様を川東中学校にご招待します。詳細は、この学校だよりにて追々お知らせします。

